

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	石井 義人	電 話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9925		事務事業名称	配水管等維持補修事業(水道事業_収益的支出)					短縮コード	経常	9925	臨時	
予算区分	会計	63	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	02	配水及び給水費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		水道法						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
管の布設後30～40年を経過し，老朽化，経年劣化等に伴う給水管・配水管の漏れが毎年400件前後も発生しており，迅速な修理で有収率・有効率の向上を図るため。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
創設時に布設した給水管・配水管が老朽化し漏水の原因になっている。また創設時以降に布設した管路も経年劣化により，漏水が発生し，今後増える傾向にある。迅速な修繕により対応すると共に，早期発見と適切な維持管理により有効率の向上と2次災害の防止に努める必要がある。						大項目（節）	04	水道					
						中 項 目	01	水道					
						小項目（施策）	03	災害・環境対策の強化					
						細 項 目	02	有効率の向上					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	給水管・配水管等の水道施設							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 自然漏水が3 2 6箇所発生しその修繕を行った。							
	※平成22年度に計画していること： 自然漏水箇所を3 4 6箇所と予想しその修繕を計画。							
意図 （何を狙っているのか）	漏水を修繕し二次災害防止、漏水の再発を防ぎ水の有効利用が図れる。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	配水管総延長	k m	629. 8	639. 2	641	650	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	漏水修繕件数	件	384	408	326	346	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	二次災害発生件数	件	0	0	0	0	
	指標 2	有効率	%	95. 74	96	95. 43	96	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		9925	事務事業名称	配水管等維持補修事業(水道事業_収益的支出)			所属名	維持管理課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	154, 647	151, 294	136, 439	170, 781	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			修繕費153, 307千円	修繕費149, 793千円	修繕費135, 083千円	修繕費168, 174千円	
人件費 (B)			千円	26, 904	25, 416	29, 535. 6	27, 261. 9	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	181, 551	176, 710	165, 974. 6	198, 042. 9	

3. 事務事業の評価（S E E）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由			
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		有収率・有効率の向上に寄与している。			
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		管路の維持補修であるため終期はない。			
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		水道事業は、水道法により自治体が行うものと位置づけられている。			
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の対象と意図で、漏水の防止ができ、有収率の向上を図ることができる。				
		☐ 見直す必要がある						
		☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		老朽化した給・配水管を更新し、漏水の予防に努めている。漏水は予測不可能なので、これ以上の有効性や効率性を求めることはできない。また、修繕方法についても単価契約による委託（出来高払い）方式を採っており、突発的な漏水等に対応する体制としては、現行体制現状が最善であるとする。			
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法					
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある						
		☐ ない						

コード	9925	事務事業名称	配水管等維持補修事業(水道事業_収益的支出)				所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			建設課（配水管）による老朽管の更新事業が継続されていること。また漏水の「復元性」等もあり、現状のまま継続していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			漏水を未然に防止出来るよう現状の方法で対応していく。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
鉛管の更新を進めて欲しい要望がある。									

所属長コメント	・管路調査や更新工事の実施により管理を行いながら，発生した自然漏水に迅速に対応出来る現行の業務体制を維持して行く。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									